



つれづれダムだより



阿木川ダム防災資料館

あけましておめでとうございます

2012年・・・新しい年となりました。

今年もあぎー君をよろしくお願いたします。

昨年の2011年は、阿木川ダムが管理を開始して20年を迎えました。それを記念して“20周年記念カード”が作成され資料館で配布をしています。たまに、ダムカードと勘違いされる方もみえますが、この20周年記念カードはダムの四季折々の写真がカードになっていて、『桜がきれいだね』・『冬は結構雪が降るんだね?』などなど・・・、来館されたお客さんにも好評いただいています。春・夏・秋・冬 バージョン(4種類)と、スペシャルバージョン(2種類)の計6種類のカードがあり、年明けも引続きお渡ししていますので、資料館にお立ち寄りの際は、宜しければ記念にどうぞ。(・・・ どんな記念カードかは、見てのお楽しみです)



ダムの水はどこへ流れて行くの？

不思議なもので、来館されたお客様からの質問で同じ様な問いが続く事があります。例えば、「噴水は何のため?」「発電はしているの?」「管理はどこがしているの?」などといった事ですが、つい最近も別な日に中津川市と多治見市からみえたお客様が、2階の展示コーナーなどをご覧になり、「〇〇〇市に住んでるけど、このダムから水が来ているの?」との質問がありました。多治見市の方は「こんな遠くから水が来ているなんて知らなかったわ～」と驚いてらっしゃいました。

阿木川ダムの水は、東濃地域の5市（恵那市・中津川市・瑞浪市・土岐市・多治見市）及び、愛知用水地区に上水道用水と工業用水として供給されています。また、木曽川にある落合ダム(発電専用)の貯水池には東濃用水の取水口が建設されており、東濃地区の5市へ供給されています。

(右記の略図参照)

阿木川ダムは多目的ダムですので、上水道・工業用水の供給目的の他に、「洪水調節」・「河川維持」の目的があります。



〔阿木川ダムより、最大毎秒4.0m³の水を流すことができる。〕

普段、何気なく使っている“水”ですが、どこから流れてきているかを改めて考えてみると、思わぬ発見があるかもしれませんね。

現在、広場入り口付近にてイルミネーションが点灯中です。詳しくは、阿木川ダム管理所のHP～ダムブログ～で紹介されています。(機構職員の方々などの力作です！)

